

5. 厚生労働科学研究費補助金（免疫、アレルギー疾患政策研究事業）

分担研究報告書

季節性アレルギー性鼻炎の診療実態と経済的影響等の解明のための研究

分担研究者 米倉 修二 千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 准教授

研究要旨

WPAI-AS調査票を用いて、一般事業所の従業員を対象にしたpresenteeismの調査を行うために、研究計画書を立案した。また、千葉における2026年のスギ花粉飛散状況を調査した。

A. 研究目的

スギ花粉症の医療経済に与える影響として、スギ花粉症患者の労働生産性への影響について調査を行うべく、研究の立案を行う。またスギ花粉飛散状況は診療実態に影響するため、千葉における2026年のスギ花粉飛散状況を調査する。

B. 研究方法

千葉大学大学院医学研究院倫理審査委員会に「スギ花粉症が労働生産性に及ぼす影響の探索」の研究計画書を提出した。スギ花粉飛散数の観測に関しては、千葉大学医学部屋上でダーラム法にて行った。

（倫理面への配慮）

アンケート調査に関し、個人情報保護について配慮した。WEB上でアンケートの趣旨を文書で説明し、回答前に同意項目にチェックを入れることで、適切な同意を得る。

C. 研究結果

WPAI-AS調査票を用いて、一般事業所の従業員を対象にしたpresenteeismの調査を行うために、研究計画書を立案した。アンケートは2026年3月にWEB上で行うこととした（承認番号M10740）。ダーラム法による2026年のスギ花粉飛散数は約3000個/cm²であった。

D. 考察

千葉における過去約20年のスギ花粉飛散数の平均は、約3500個/cm²であり、2026年はそれを若干下回る飛散数であった。月別の観測数は、2月は約1080個/cm²、3月は約1870個/cm²、4月は約50個/cm²であった。アンケート調査はスギ花粉飛散数の多い3月に施行され、好条件下で調査を行うことができた。

E. 結論

当初の予定通り、順調に調査を行うことが出来た。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

米倉修二. 花粉症重症化ゼロ作戦とMASK-airとの連携（2025/4/17, 秋田）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他